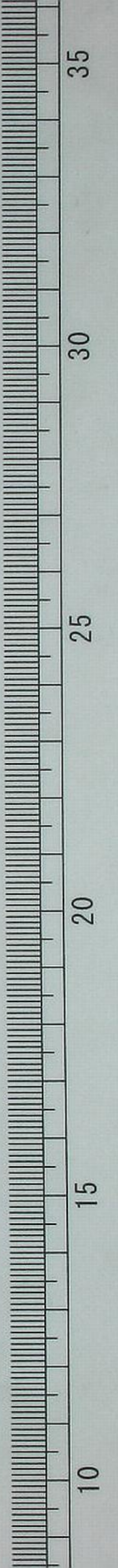


世界國盡

四

柳田文庫
文庫11
A1835
4



古論武子



北亞米利加の事
 千四百年代の事
 伊太里古論
 武士の心
 羊の毛績ぐ貧しき

士目人

北亞米利加洲
 亞米利加は西の海
 新世界を此に状
 横たふ事北馬良
 尾岬より南の瀬

御田原

文庫 11
 A 1835
 4

御田原

家の子ありしが航
海の術を心得其志
を所凡人小りらば
獨り自から考ふる
不世界の状圓き由
へ東の方小印度東
どの土地は西
の方小必は地方
あるべしとて説を
立西班牙の王小説

戸は麻淡蘭一長
さ四百二十餘里
みまろ二大海北理
の續は巴拿馬
地峡の長二千餘里

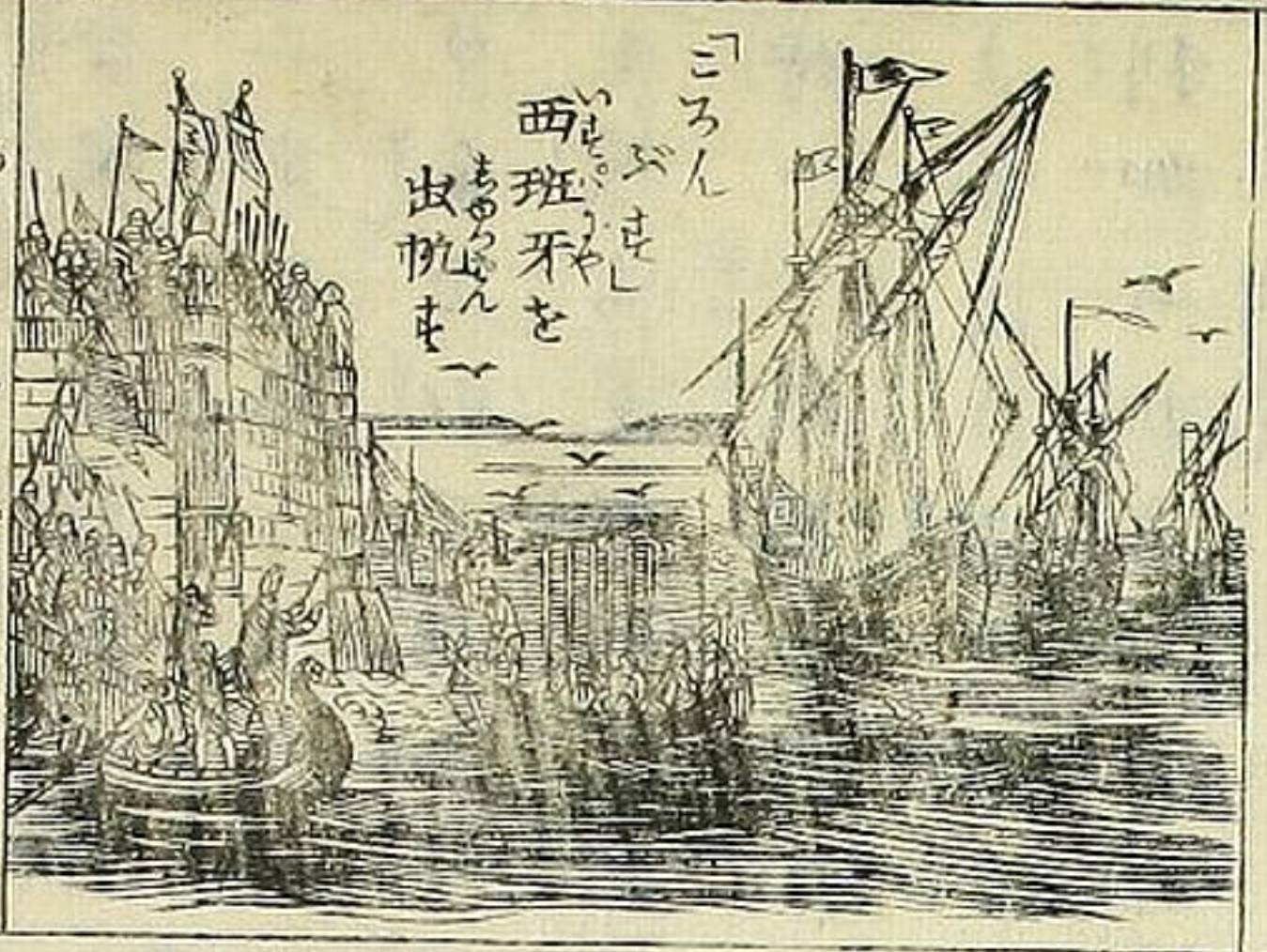
き王妃の助を以て
船三艘を仕立西
方をさして乗出せ
小果して陸地を
發明したる頃ハ千
四百九十二年即ち
我明應元年ありこ
もより歐羅巴諸國
の人類小往來して
よき地面を見出し

東のくは河多羅
海は廻るは平
海は西の方日本
北は柔利加波
海は厚保島

見出さ小随ひ本國
し人移して新
地を開闢し得る所
の利潤も多し土地
の模様小由り地理
の學者ハこを南
北二大洲小ち又
亜細亞阿非利加歐
羅巴を舊世界とい
ひ亞米利加を新也

北亞米利加の西の隅
あり北の魯西亞領
の大洋あり北
五百海里世界多
北港あり東西二

界ともいふ



○魯西亞領の亞米
利加ハ唯土地の廣

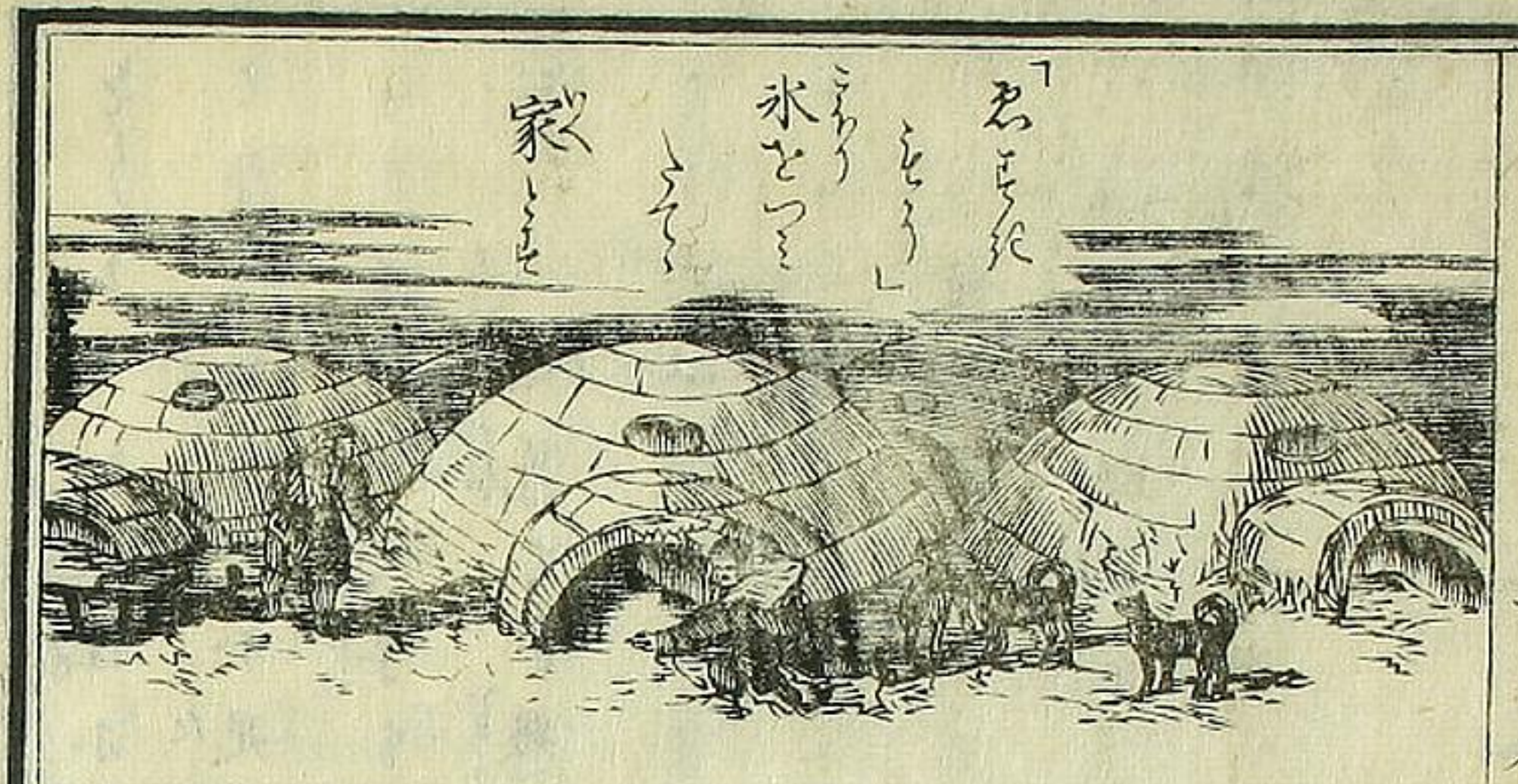
支那の土地を度け
水と人氏僅をいふ
や柔教しく土地瘠
人の棕漁樵のみ
東の才人強をいふ

きのりて産物も
少あ一慶應三卯年
合衆國の政府七百
二十五萬のらら
の金を以て此土地
を残り買取と當
時ハ合衆國の領分
とあき都て亞米
利加之北方に住居
る土人のあき

具理陰蘭土伊湊
蘭土と乃本は
北極と紀寒帯
のそそと秋
雪やみの古

をうといふ人種
て身の長五尺不足
らる通用の文字も
あく人物甚と愚
なり寒國のことか
まバ穴藏に住居
て衣食共おきたか
一或ハ氷を層立て
穴藏とあしたるも
り

吹雪り噴火山実不
称「紀系色なり
美吉利領の亞米利
加北極海の邊
南「鄰る合衆國



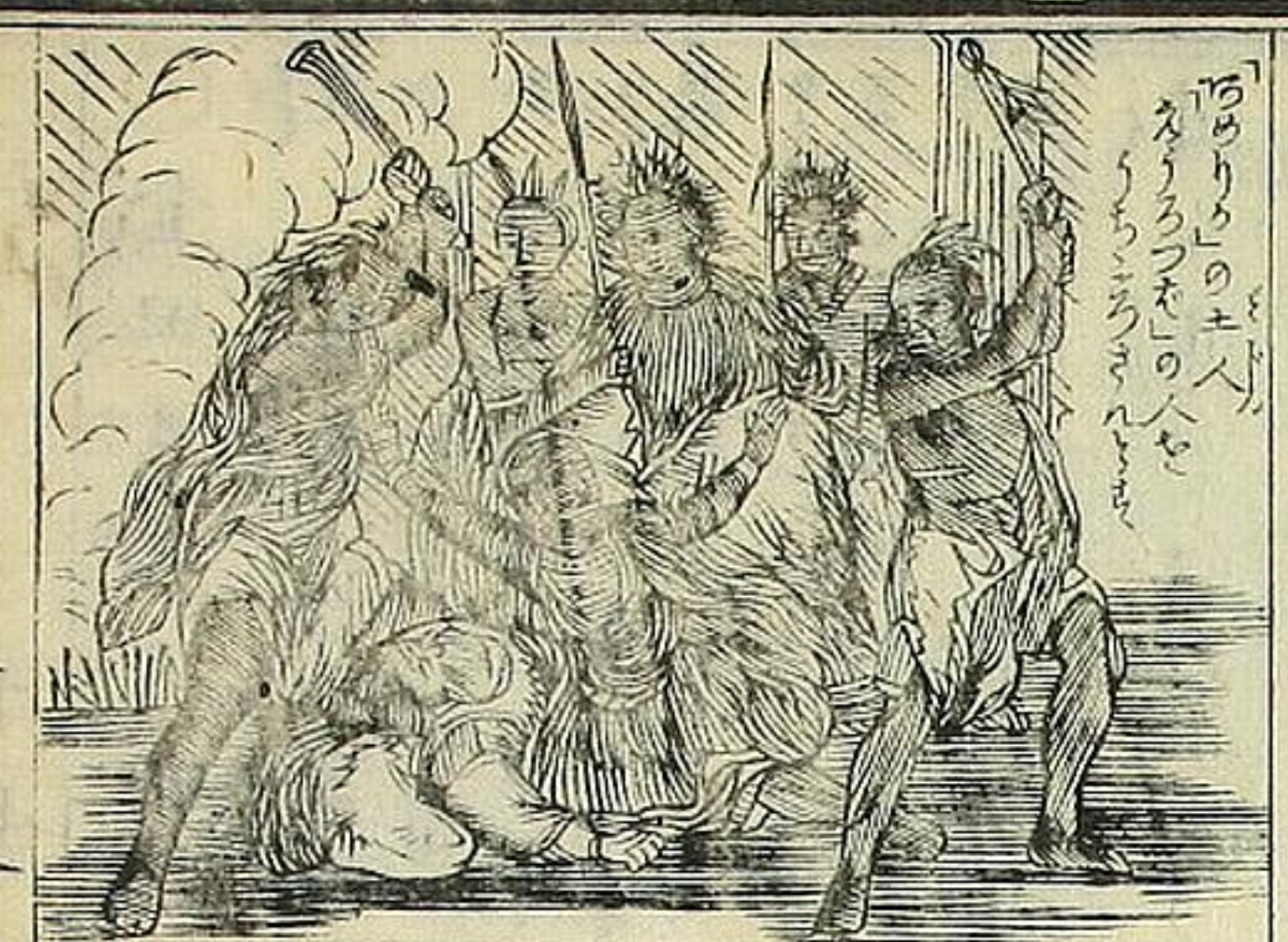
北亞米利加
 其一分の地
 水と北名不色れ
 荒野より人
 氏僅十
 八萬處を了るる人
 家

悉すきもこの外に又
 河んぢやんといふ人種あ
 り即垂米利加の土人
 とはこのことなり昔こ
 ろんぶすか垂米利加
 を見出せし前より此
 國に住る者に七開國
 以米の垂米利加人なるれど
 も其生質殺伐にして文字
 を知らず處のためし家

もなしく無智文盲の
 野民のみ南東は全
 田の地氣候次第は和
 らしう人民多し敏
 いみなみ境の湖水

もたなく山坂を徘徊し
 矢を以て敵を殺し肉を
 喰ひ皮を着て生涯を
 渡る者なり 歐羅巴
 巴の人 亜米利加

よう流る河は老蓮洲
 河の畔の喜別久に築
 建たる砲臺は金城湯
 地のかまぐにて世の
 誇りは亜米利加



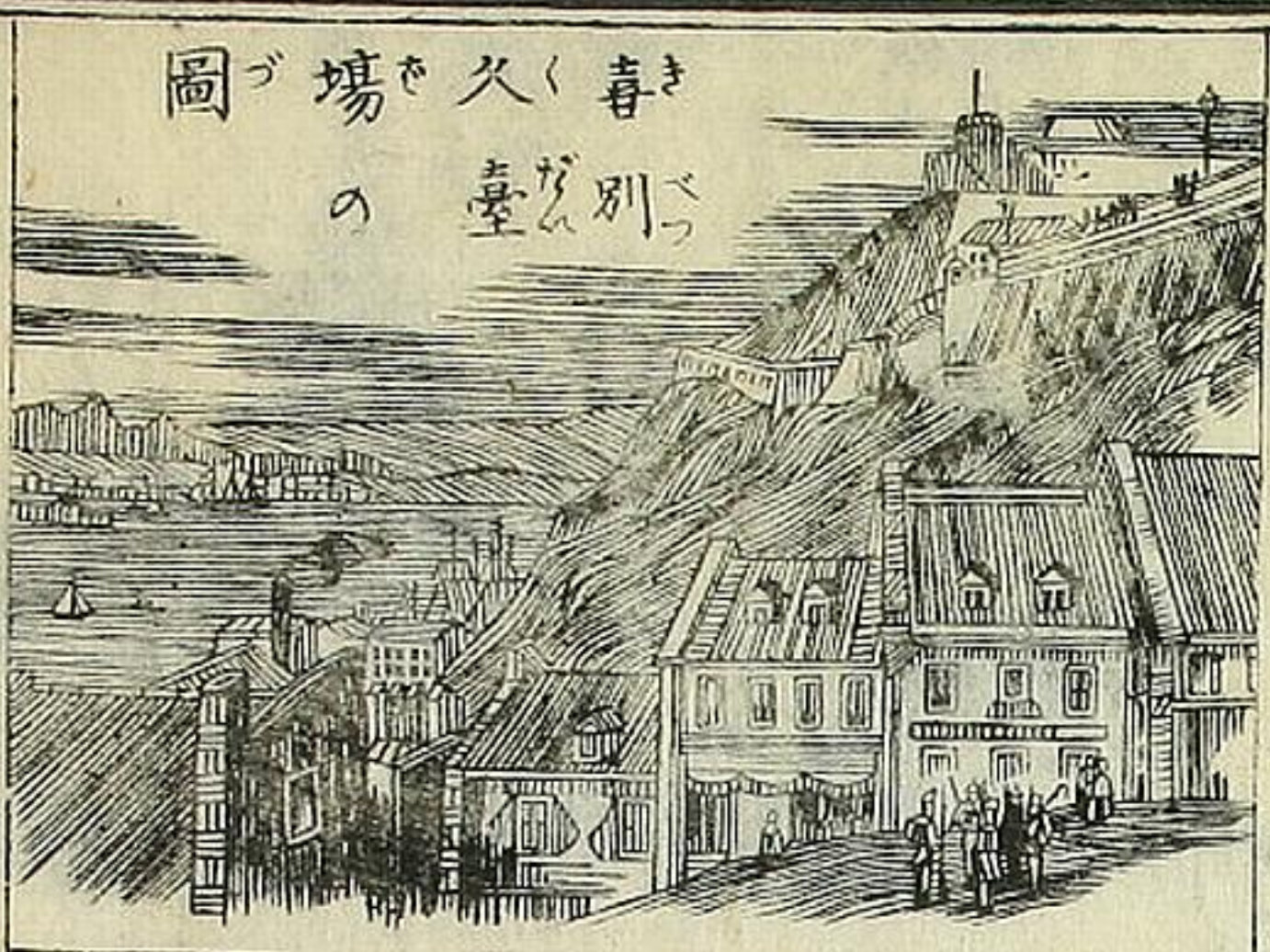
地へ出るを許さむ
 追々其人の數も減
 少するより

の治部良苗多苗と
 比多入々孝河の流
 瀬里門土里苗を河
 中の崎より昇り
 交易場西より上り

十人 國書 六

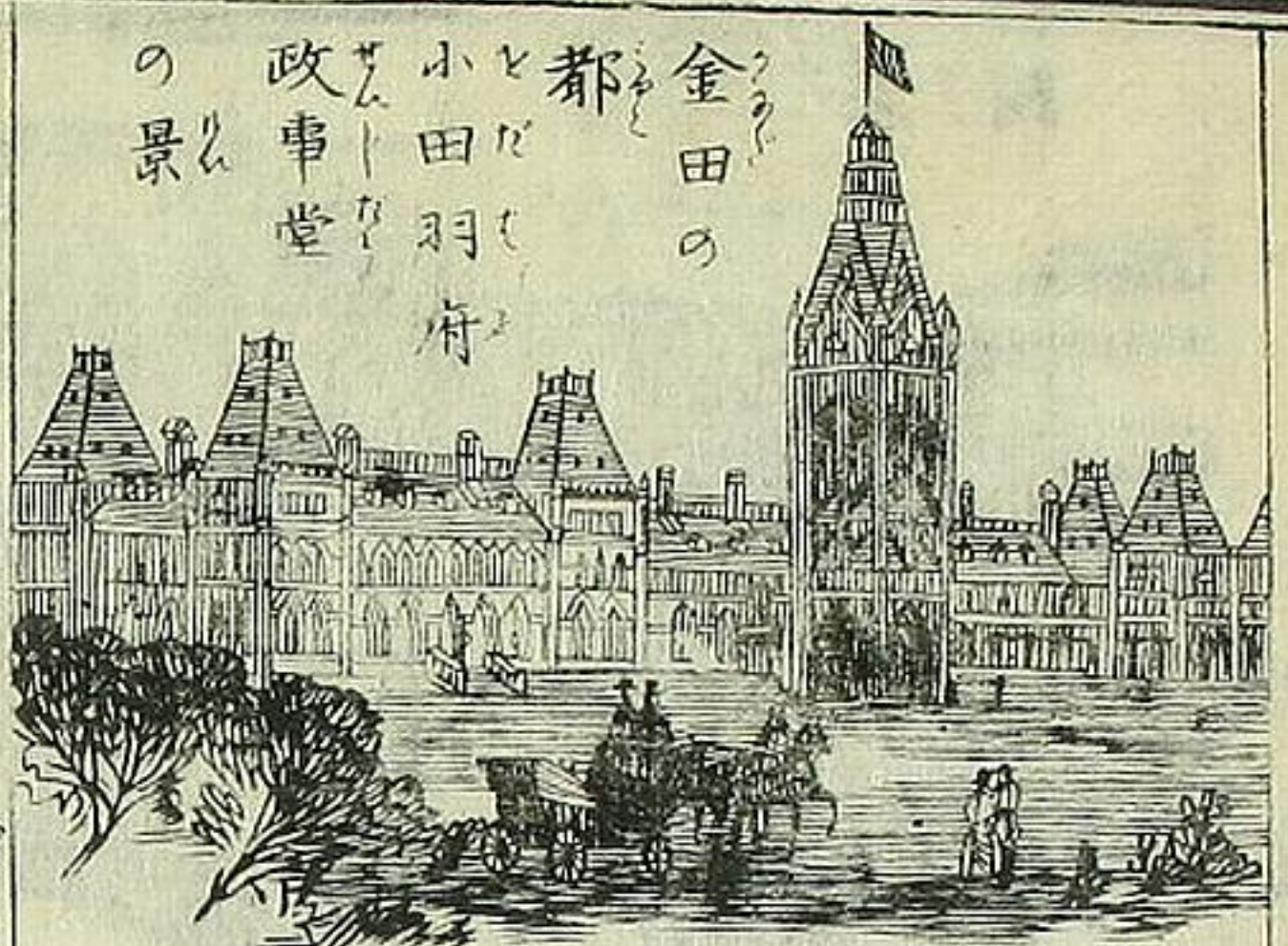
○金田の地ハ近來益々繁昌して諸鬼小學問所も多ク往來の便利ハ蒸氣車並ハ湖水ハ浮べる蒸氣船ハ商賣の道も甚と盛あり西洋人の説ハ此地も行くハ英吉利の手を離きて獨立を

小田羽河の如きみまのこ
小田羽府を英吉利
國の代友所北の地
極西方ハ太平洋の
濱も主利の方ハ河



る又ハ合衆國へ歸して一の政府と
かるべしといふ

多羅海新見の國
以果ヨリ一季
握。總奉行北亞米
利加リ英吉利は
威勢以振ふ根本



○前小もいへる如
く亞米利加洲を見
出せ—後ハ歐羅巴

の諸國より家を移
—三百年をりり
問小人別も追々増
—今の合衆國の東
海岸の地ハ英吉利
の領分して人の産
業も繁昌する小村
本國の政府より運
上を取上げんとせ
—小領分の町人百

世界國圖卷四

金田地才此所傾
なり
昔天のふと土地廣
く平土の濱に民多
—位の好くぬ生

雲出如象富強弱
賢不肖と乃趣其
多好と耳目鼻口
四肢の官是非曲直
を分別—善より淫

八

姓どもの言が億
兆の人民天地の間
小生も貧富強弱の
別こそばらん男ハ
男一人あり女ハ女
一人あり他人の妨
を為さずまハ亦他
人より妨げらるる
の理あり今此地ハ
居て銘々の家業を

本心と學をすむむ才
能を一種無類万物
の空より具る天の性
可古不易の一大義
之海は舟か一舟は

管と銘々共の申合
せふて國中の取締
り行届き本國の世
話を受けむとも自
ら一國を治るだ
けの覺悟はる鬼へ
政府より色々の命
を下し謂もかく運
上を取立んとハ心
らざる世話を為し

役一人の執我係
此の如くも代
我自由天の道理
其の國に報ゆ
丹心は誠を以て至

て下々の家業を妨
ぐらのそあらざ人
の物を奪取て上の
用を達せんとも
不埒の舉動ありた
とひ國王政府の命
たりともこを兼
知し難しとて孤々
以て獨立の旗揚お
変定せし頃ハ千七

如不羈獨立乃智を
留人しとせし止り
北亞米利加の十三州
乃本國の政府よる
威光を以て新し

百七十五年即ち我
安永四年あり

名將
ワシントン



英の本國より軍
勢を差向け威光を
以てこを鎮めん

言存たる記賞税
以てしと告げん
多し便多し民備
天然の自由は越え
し日し威光を以て

とまきども亜米利
加人ハ固く必死
小覺悟定め老若男
女獨立の師と聞て
悦をさる者なく町
人ハ天秤棒を持て
市より起る百姓ハ
鉏鋤を携へて畑よ
り駈出まどりの勢
おもバ中々穩便の

遺恨多し遺恨多し
恨より老を孝し頼む
所ハ天地の理に在る
あ、永々年の秋十
三海に名代人軍士

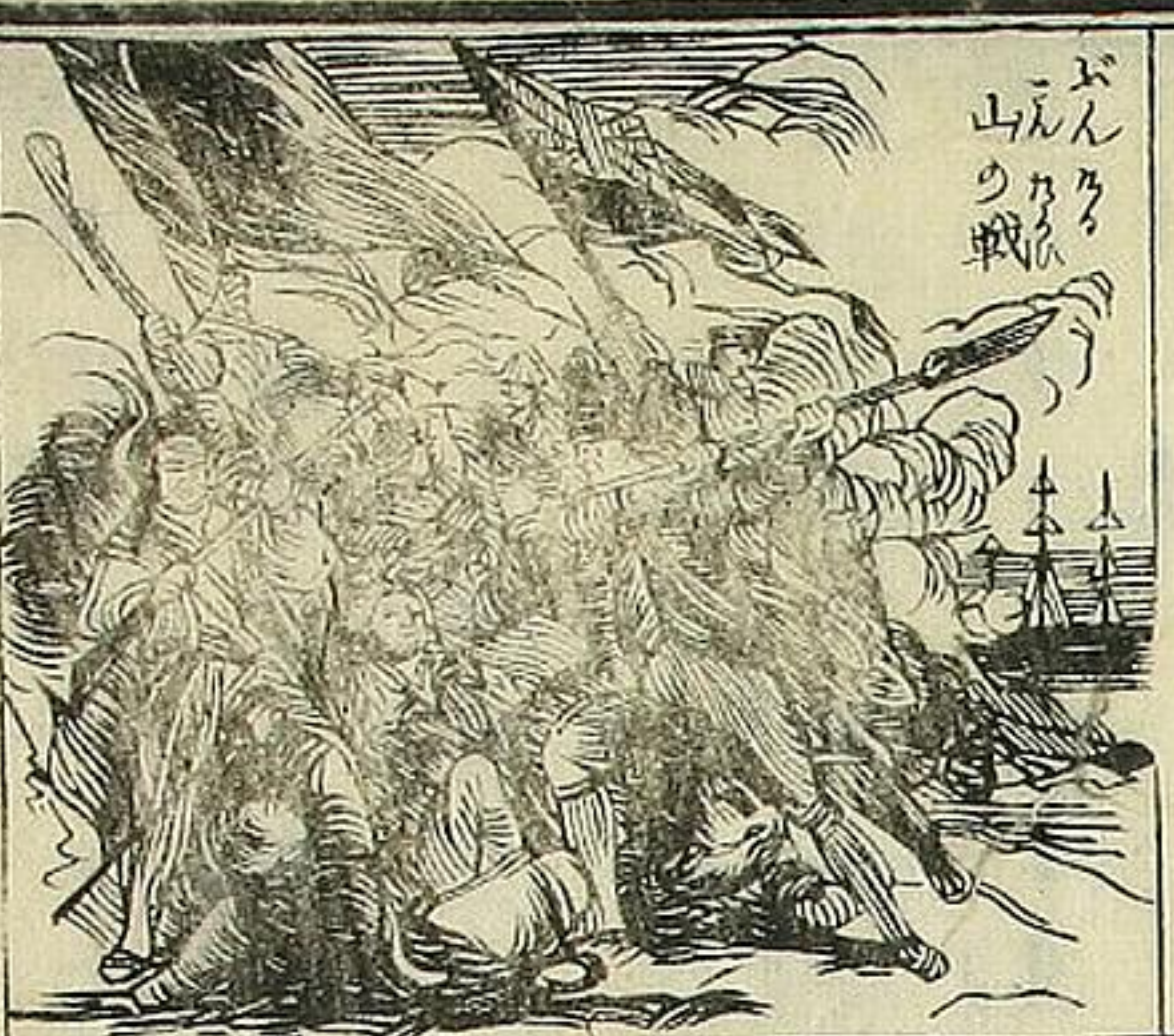
扱也來む千七百七
十五年四月十八日
「まきーんとんと心
不慮の小戦おて始
て血を流し五月お
ハぶんける山お戦
争の事こそよう一
國の騒乱とありわ
しんとんを推して
惣大将と為し翌年

以速判状世界一示
と檄文の英吉利王
の罪状責免自し
建し一合衆國式
器兵糧之し民

七月四日ハ四十
八士獨立の檄文を
布告して人氣益振
ひ昼夜の戦争或ハ
克ち或ハ負け辛
万苦其有様ハ筆ハ
盡し難し人の誠心
天の恩恵遂ハ勝利
を得て英吉利と和
睦結び國政を定て

數多の敵を海を越
え新軍引替（て先
有極痛飛龍の
勢ヲ松毛を撓すぬ
鉄石の如く海よ撓すふ

共和政府を建てわ
んとんとを大統領
の職お任せ一人大
國の基を開きたり



山嶽の戦

國の爲先と生命
得自由と理屈
し生れんと李國を報
了死に及ん一死決
七年の木の月日

此度亞米利加にて
帥の起るに誰一
人として頭取もあ
く國中の人一般に
獨立を望み婦人小
児に至るまでも其
氣象を備へたるこ
とを礼を英吉利よ
りさし向たる官軍
の勢もても克ざる

攻守知勇義の名
を子に歳に流る血
乃河骨の山七十七戦
の報難え消る忌
大勝利目如度あり

一ことあるに既に
小戦争の起る以前
のことあり不ふと
んとし不ふと
折しも冬の目所の
子供大勢おて雪を
集め家を作し達磨
をこしらへたど
て戯居たをい趣
へ官軍の歩兵来り

「英吉利」と和睦結
び新條約を東國
に政を体ありて主君
あり天下は天下の
下なり四年交代乃

何心かくこを妨
げしこと度々あり
しるバ子供等大
憤ふして英吉利の
將軍「げい」の外
もる所を待受け
軍へ訴ふことあり
と呼掛けし將軍
はざ笑ひ汝等も親
小謀反を教へらむ

大統領上院下院の評
議院一國中以便不
便議り定先一法律
の威、行を水極、
以事之進む法の富百

て爰へ来て一やと
いへバ子供等ハを
くも氣色かく將
軍とからつけ我
々共ハ人の指圖受
けて参りし者ハ
らぞ今日將軍へ訴
ふるも余の義から
ぞ我等嘗て官軍へ
對し失禮せし覺も

工製作商賣は英吉
利と肩並し文教
技藝學校を佛蘭西
國以有し以地
以る産物ハ穀穀類

ほらぞろお赤兵の
人々謂りあく我等
の自から作しし雪
の達磨と踏崩し池
の氷を破て人の樂
を妨げし小由其
乱暴を止むまど
笑て答へを却て我
等を謀及人あど
唱へ更小取合を差

綿燵そ葡萄菜実
甘庶金根銅鉛鉄石
炭ん世間の日用
物つる是なり衣
食を逐ふ人此情求

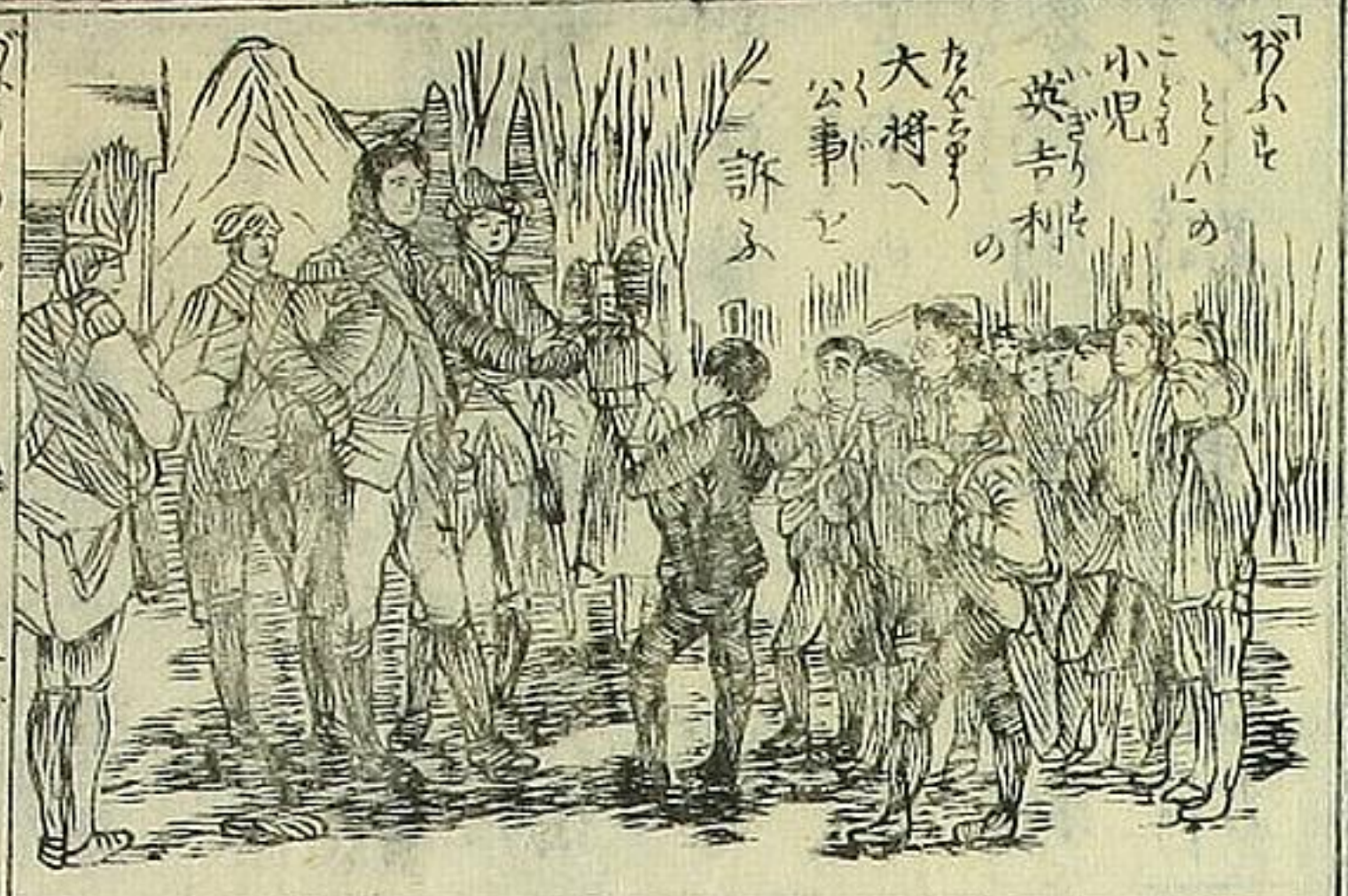
圖後の人へ告せど
も矢張同様の挨拶
のそ昨日も雪の家
を毀ちしこと既お
三度お及べし最早
其後さし置き難く
思ふよ付此上ハ唯
大將軍の裁判を仰
ぐのそと恐も憚る
所もかく辨説明ら

先得易き活計致
ちるぬる人の累す
日よ多き月之増し
人口云ふ有得る新
地并農おこし

か小述べけもバ
いもその氣象
感心一流石亞米利
加の自由の風小浴
たる小児等勇ま
さ心か以後不
埒なる歩兵はらバ
必む仕置をなすと
てその舉動を譽て
返せとの話り

漸く利く國課
西一子云百里坊と南
七百里十三海
の年傾ん今乃教之
倍一二年六洲並

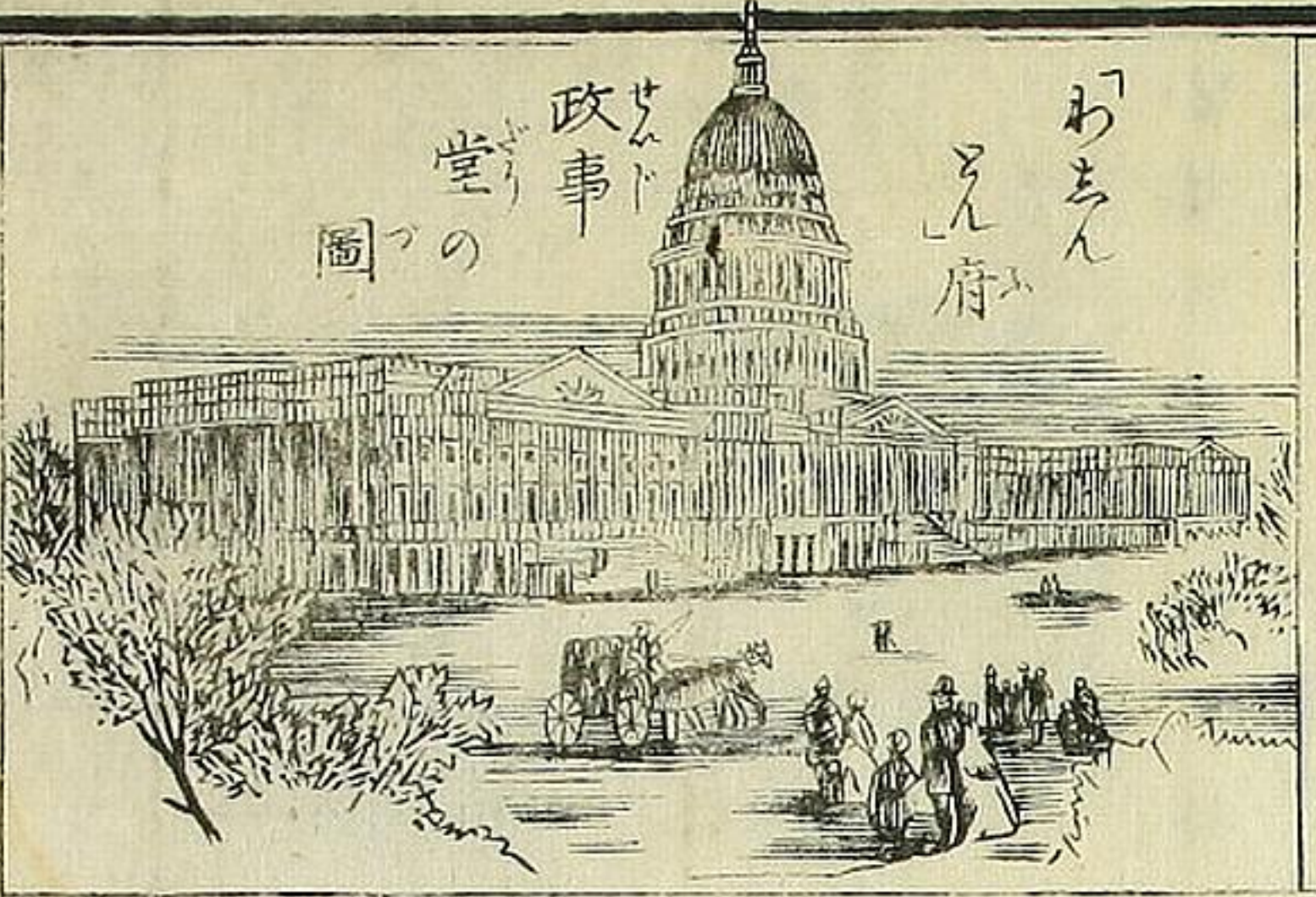
合衆國の東海岸ハ
八世留久の外



考る乃中心を和
新頓府内一軍
政事堂高さ二百
十尺街門樓閣山魏
結構め

不ふまといふひら
でかひやむるちも
ふる等數多の都會
以て文學技藝盛不
して器物製造商賣
繁昌の模様ハ英吉
利佛蘭西ハ異ふら
む南の諸州ハ米
麥綿烟草等の産物
多し都て東北諸州

とて海より西の
獨立し威を
いり大玉の議政為
政の源ありと
大なる理あり和
新

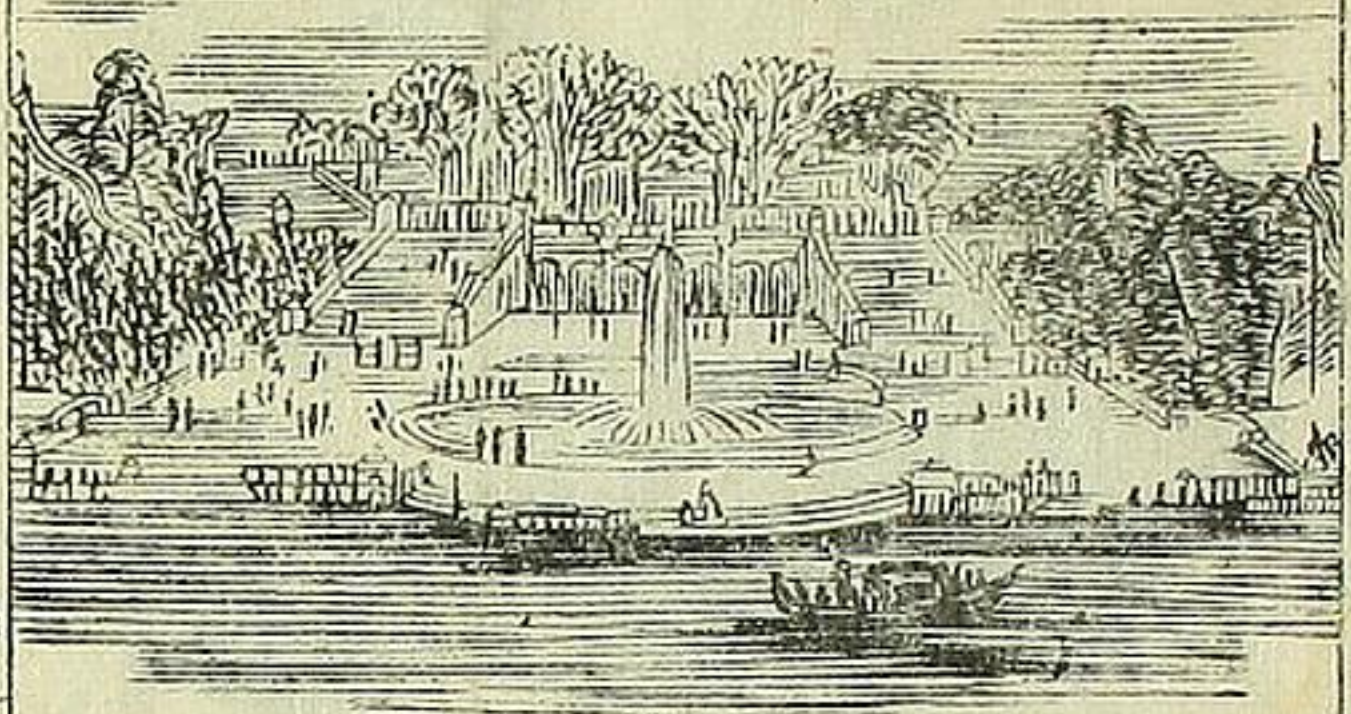


政事堂の圖
おとん
ん府

ハ商賣を勉め南方
を農業の勵といふ

頼むる坊の方百里
屋をくくハ女留久人
口んフ百の年一
乃交易の場を
美吉利の論政府

あう
よろ
市中
遊園
の景



か
り
不
る
ふ
の
金
山
ハ
固
く
一
あ
り
此
外
合
衆
國

せん付御たり西
まらまら海岸の島
保留仁屋、金の甲斐
永三年事始す先
し海を建ししより

の領分ハ金銀銅
鉄のやる處甚と多
し何れも蒸氣仕裁
の道具を用て巧を
盡し日本の金山と
ハ大に異ふるより



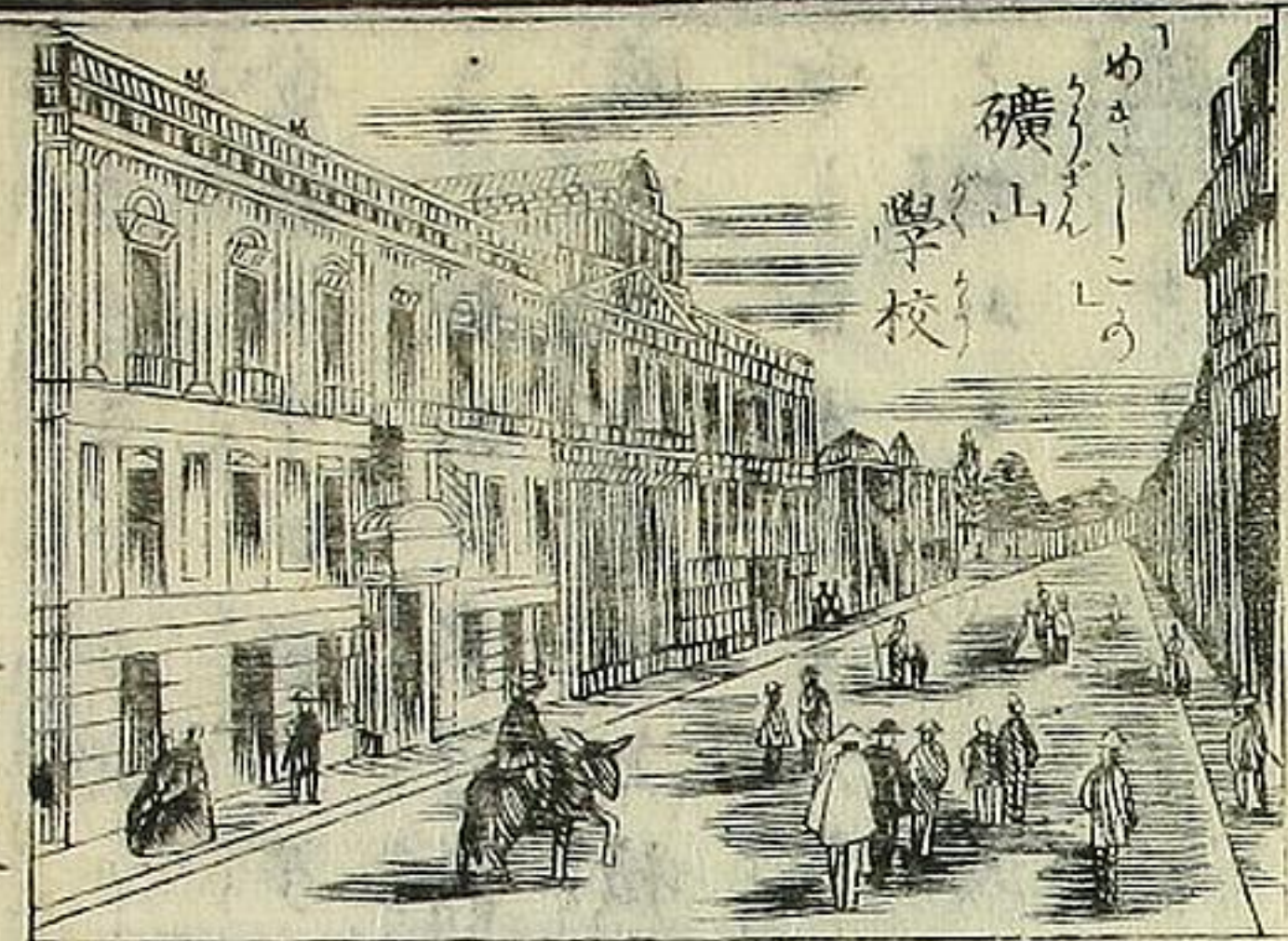
金山の穴の模様

人戸倭し新道し
たより稼を金山の
業の者しに牧田

畑石の職業
忙しく太平

○女喜志古ハロと
 西班牙の領分あり
 一ガ千八百二十一
 年獨立して合衆政
 府を建てて千八百
 六十四年佛蘭西小
 攻滅さし佛の差因
 みて「まき」をてや
 んと以ふ人を立て
 國帝とふせしう僅

海ノ海岸より北に
 おもむきを誇るを
 女喜志古の北の界
 合衆國南東一様と
 女喜志古の北の界

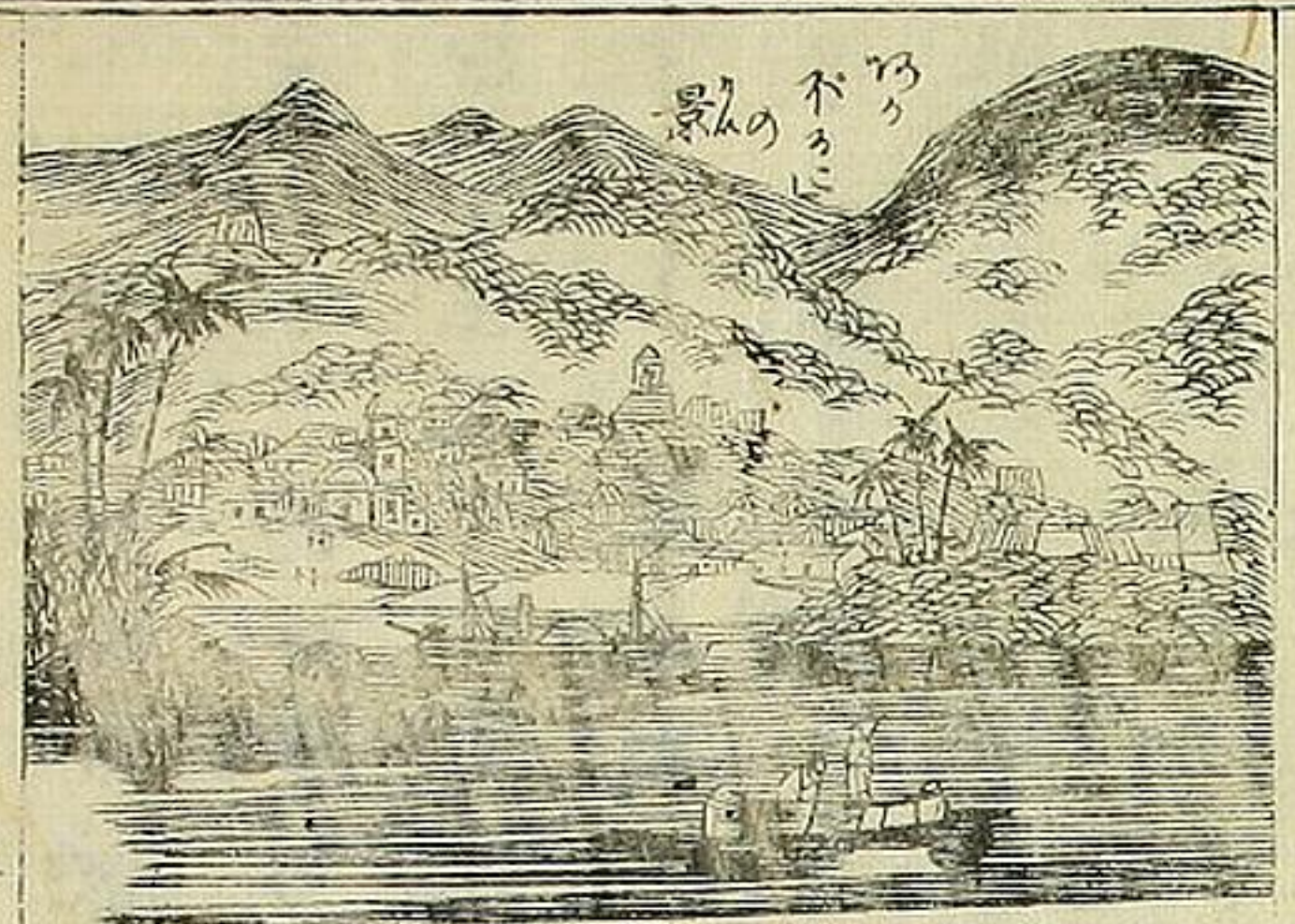


二年前にして慶應三
 卯年國中又乱きて
 新帝を殺したる

一ノ北に中亞米利
 加ノ界一と南北
 凡八百里東西三百
 三十里人只百二十万
 土地一を生きてる産

先き一にしより出る
 金額の中も最も多
 きハ銀あり東洋諸
 國へ其通用銀を積
 む一日本も洋銀
 と唱ふるものも矢
 張りき一このど
 ら
 らるなり
 女喜志古の西海岸
 小赤保留古とてよ

物を衣食の用に
 不足あり用は
 金と銀世界
 中
 一積り一富金利
 用の源は汲とて福



き港あり飛脚船あり
 どの必だあり一
 寄るよ

如淵を北と政府の
 基因一民の信
 仰淺く一志あり
 一政海より沈
 國に乱民乃軍化

廿日 國書 卷四

二十

○中亞米利加の諸國も元ハ西班牙の領分ありて千八百二十一年本國の手を離して暫くの間女喜志古小與と二年を経て獨立の政府とあり其後又各國相分けて各合衆政府を建てり

「**皇太子**」
「**女喜志古のみま**」
「**てく教箇國ハ中亞**」
「**米利加の地取上りて割**」
「**授自立の体有る**」

産物ハ金銀銅鉄材木藥種多し
○古論或子り亞米利加を發明せし以前歐羅巴人の往來して地理風俗を知る處ハ唯其本國の近傍にのみあり伊須蘭土阿非利加州の北岸小亞細亞荒火

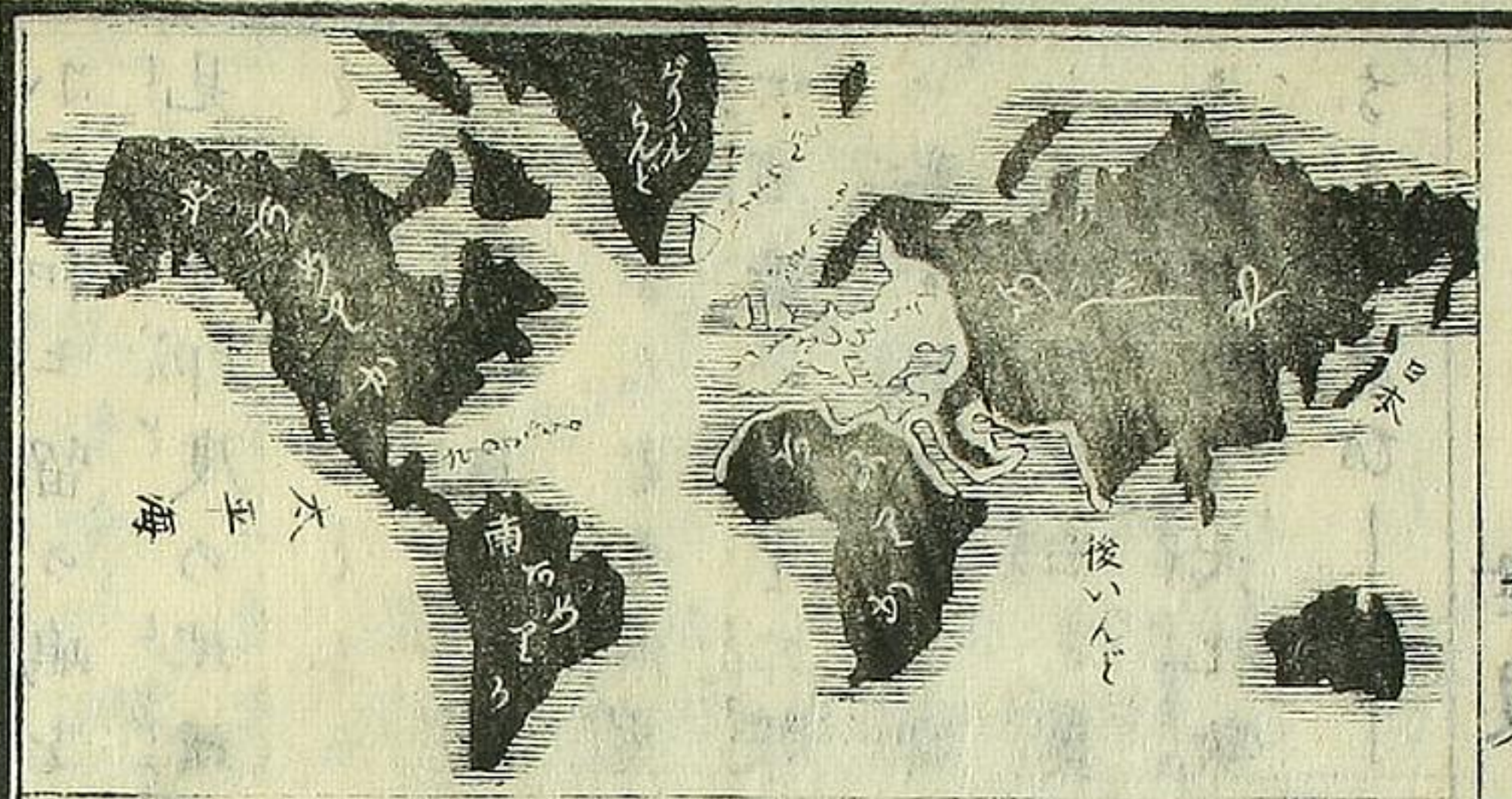
「**割て与ふるは**」
「**各守り力なく彼我**」
「**回力な約束し合へ**」
「**はたすし一統せ**」
「**以唯時を以て**」

屋の海岸より遠方
ハ後印度の即ち
左の圖中白き鬼
あり其外ハ更ハ知
らざ唯此世界ハ圓
きものなりとの理
を信して西の方ハ
も陸のらんと思ひ
案ハ遠くをこまを
見出したるあり故

北は以行末の治乱
の程を國とせり中
亞米利加ハ東方ハ
群島ハ西印度印
度之所縁ナリ島を

小猿和土留の嶋を
見ても印度の地續
と思ひしことある
べし其時島人の驚
一方から老若男
女濱邊ハ集て三艘
の船ハ帆ヲ垂テ様
を見てこハ白き翼
を廣げたる大化物
ありと思ひし

西の印度と名けし
昔明應初年の迄
世よ名ん高麗古論
武子西ハ世界ハ探
し始り見たり



猿和土留亞米利加
 だも元心まじ見は
 去平海の行らんは
 夢を毛知は赤の端
 を印度の端と認免

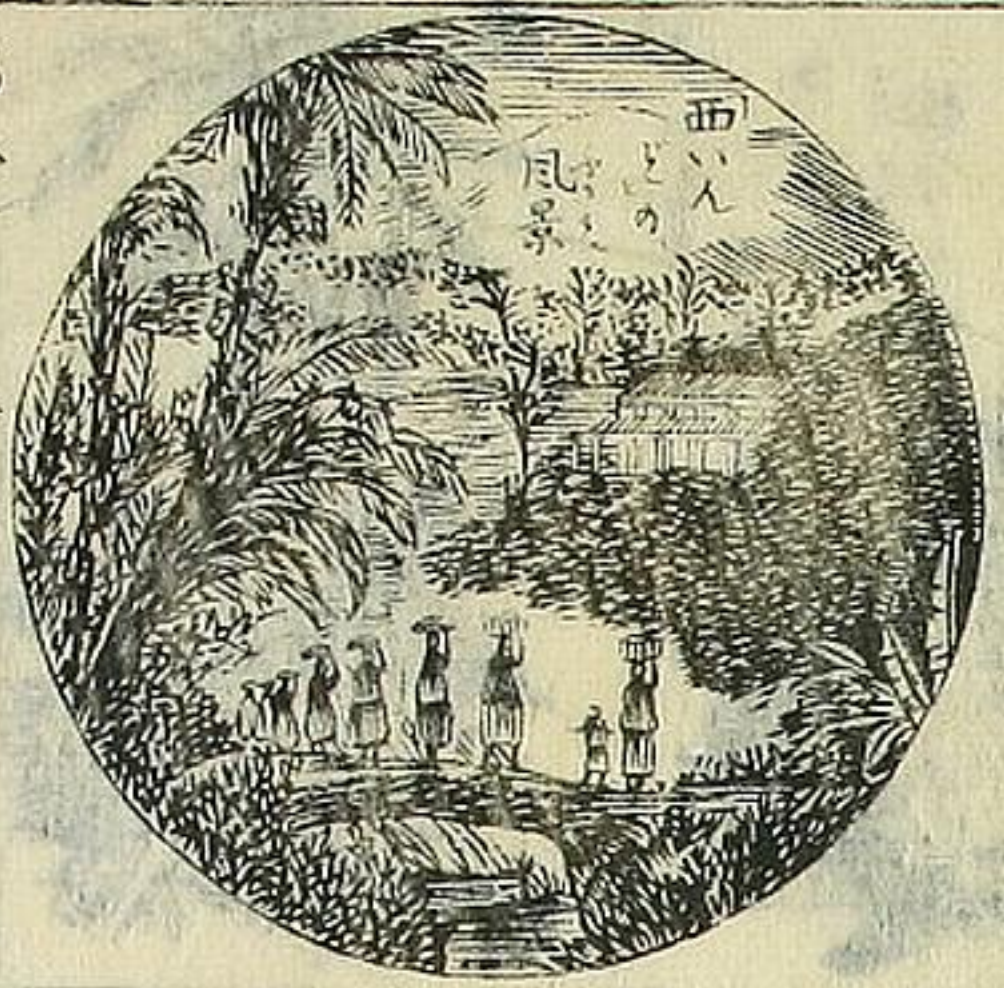
西印度の島の数
 一千の氣候
 多ハ熱地味肥
 産物多一人口合
 せて四百萬人此
 六分の一ハ歐羅巴
 の人種ハ其余ハ
 黒人又黒白相
 混したるも其様

人王告げし由來
 西は印度の名
 のは免古今未
 有の天叢明人れ
 と島の名と其傳

地ハもと西班牙の領分あり今ハ獨立國にして皇帝ハ黑人なり邪麻伊嘉ハ英吉利領あり又場ハ西印度諸島の中心に最も大いなるその都を兼和奈といふ西班牙を領する馬濱ハ小

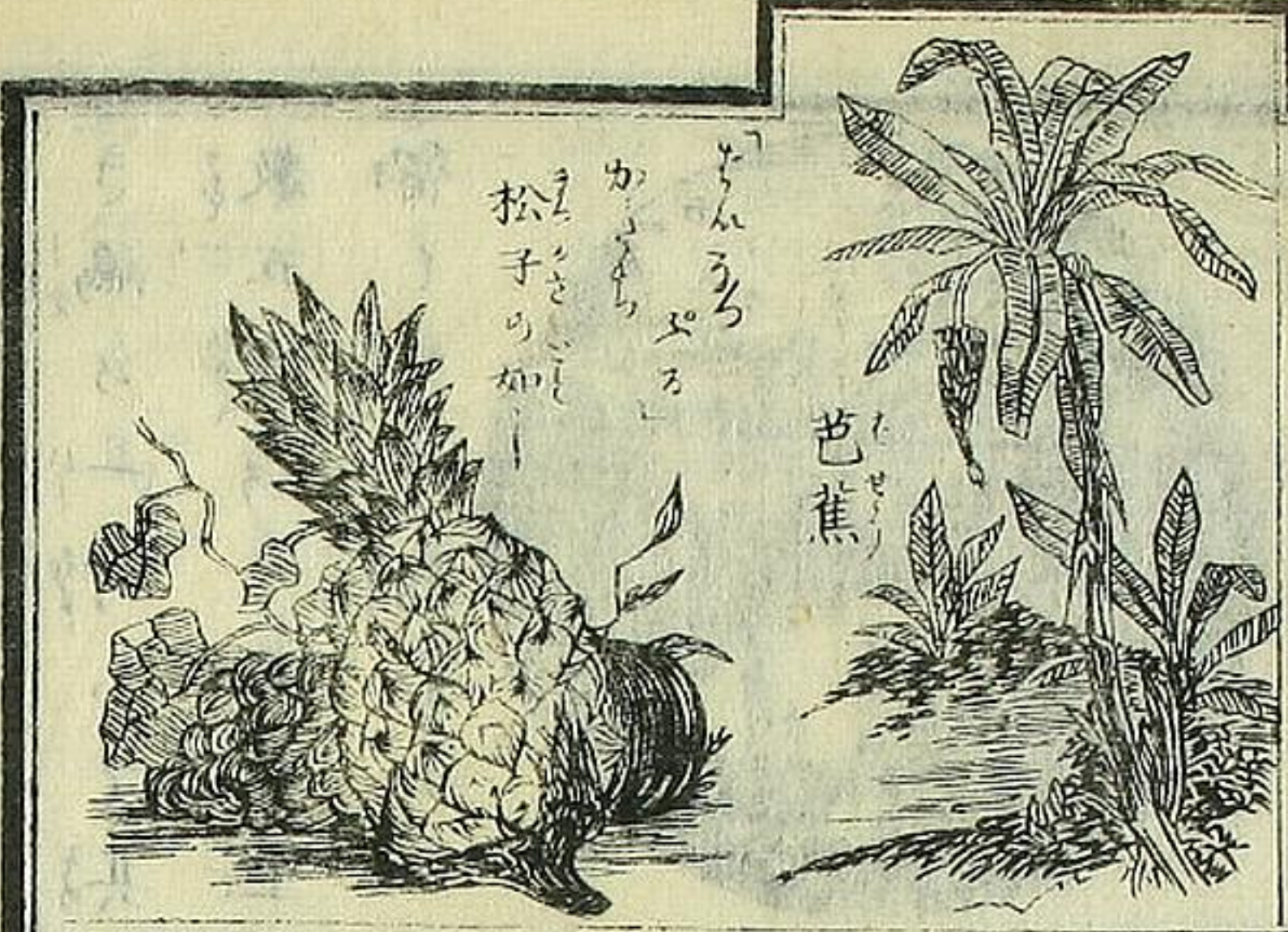
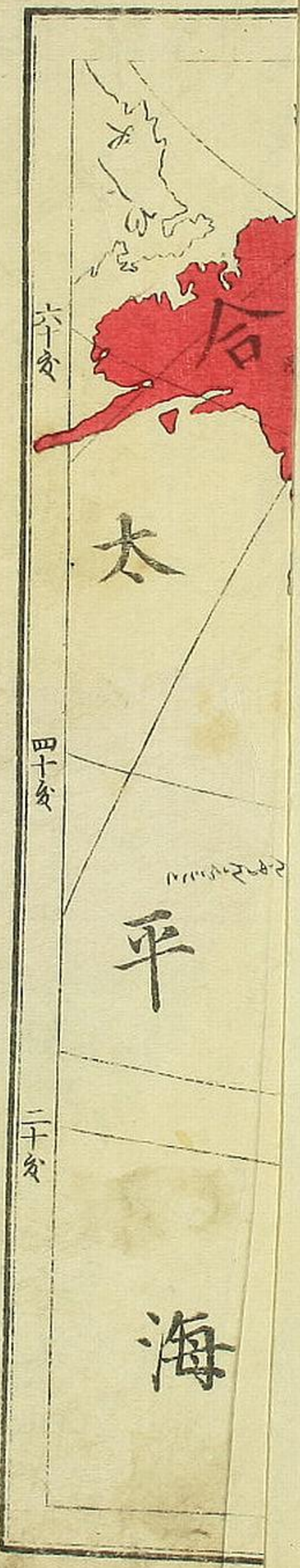
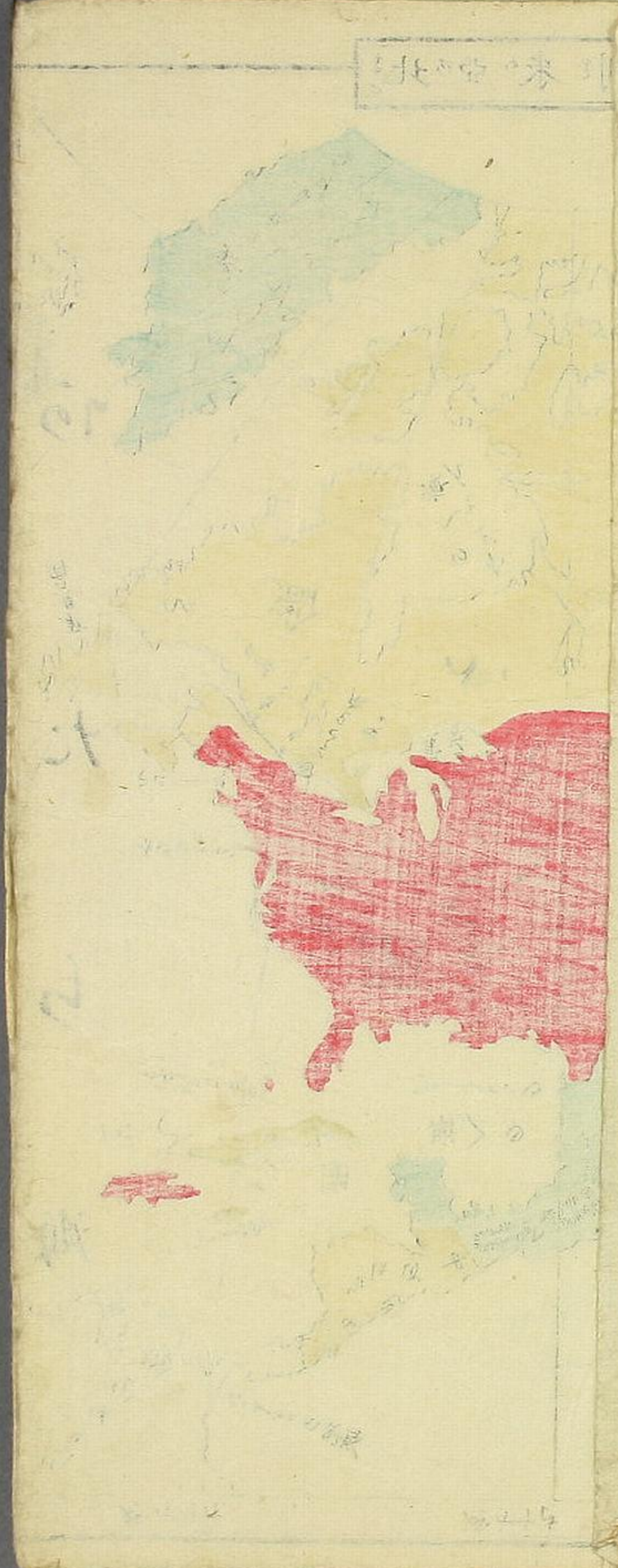
三千萬歳の島の數の多し中一昔の身之慣水一石を擇地邪麻伊嘉久場馬濱時侯熱

き嶋の一群にして其數五百あり積和土留も其一島あり



此邊の芭蕉ハ實を結び又「かんかつ

冬初より土地の産物豊し衣食足るものなり砂糖骨氷錦畑を擇地之多此芭蕉の實久場

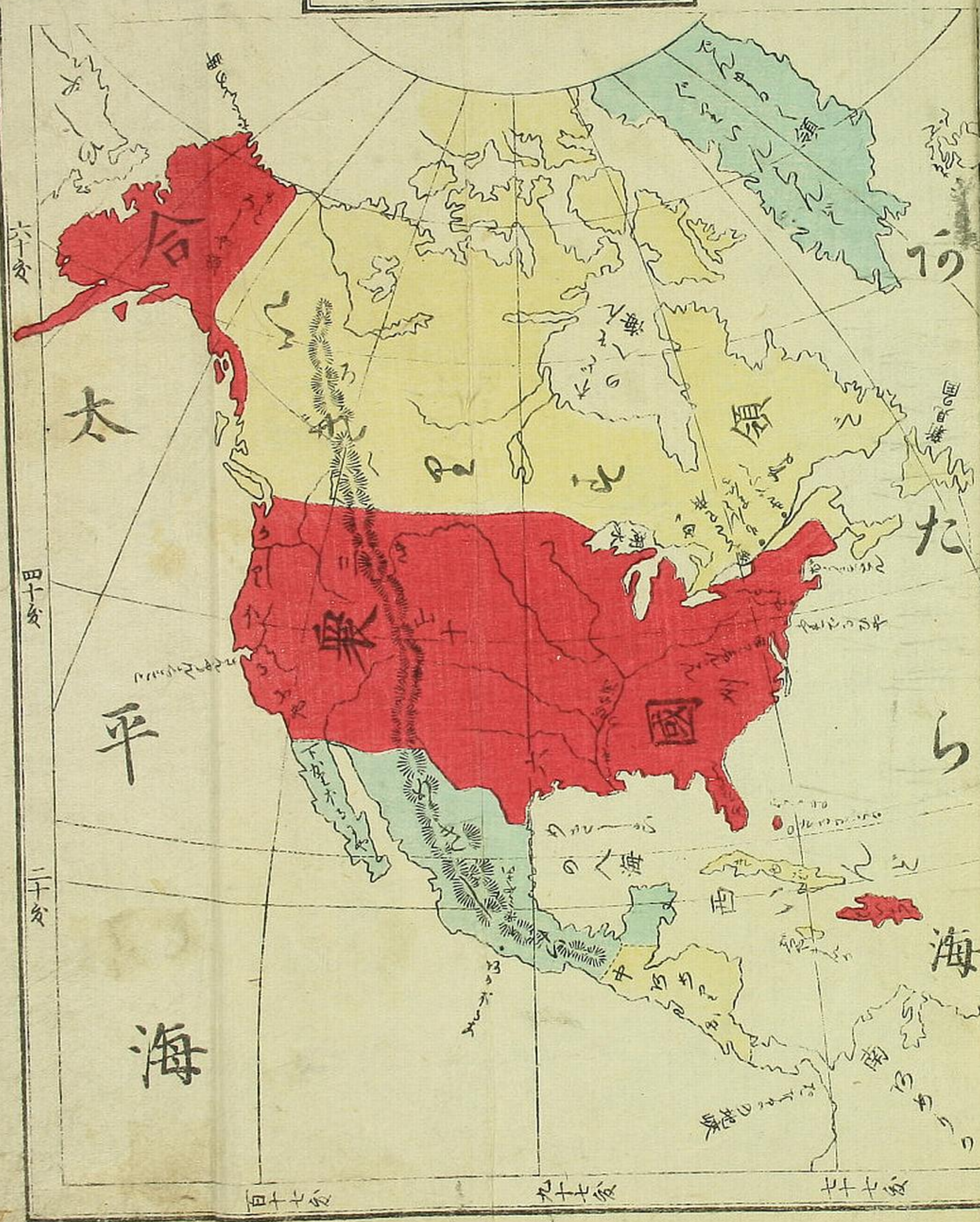


ふろとふふのり
 何をも其味よ

世界多類の石菓子
 羽奈の箱入
 製法も其味よ
 松子

世界多類の石菓子

北亞米利加洲



六十度

四十度

二十度

四十七度

九十七度

七十七度

四十二度



Handwritten Chinese text in cursive script, arranged vertically. The characters are somewhat faded and difficult to read precisely, but they appear to be a list or a descriptive text related to the pine cone illustration above.

010190533943

久保

